

シルバーだより明石

銀の花

正会員数

1,127人

男 766人

女 361人

(平成23年4月1日現在)

躍進する明石シルバー



『五月の空に羽ばたく三本の旗』 写真提供：柴田 満作（会員）

書字：櫻井 茜（会員）

【発行】(社)明石市シルバー人材センター

〒673-0026 明石市船上町5-2

TEL (078) 922-5000 FAX (078) 922-5040

URL <http://www.sjc.ne.jp/akasi/>

【企画・編集】広報・編集部

平成22年度 第2回 通常総会報告

標記通常総会は、去る3月24日（木）午後1時より晴天に恵まれ明石市立市民会館において、会員820名（委任状出席を含む）の出席のもとで盛大に開催されました。

第1部 通常総会

先ず総会開催に先立ち、この度東日本大震災により犠牲になられた人々に哀悼の意を表し会場全員で1分間の黙祷を捧げました。

開幕後は、人丸小校区（太寺）会員、小阪 滋氏の司会で進行されました。はじめに、東森理事長のご挨拶があり、来賓へのお礼など述べた後、平成23年度事業計画の主要事項について詳しい説明がありました。依然厳しい事業環境の中過去数年連続する事業収益の下降局面において、各種の対策を打っていること等詳しく解説もなされました。（詳細はスペースの関係で割愛させていただきますが、総会議案書ご参照下さい）

引き続いて、ご来賓の中から友国副市長並びに出雲市議会副議長の祝辞をいただきました。

総会議長には、荒川克博氏が選出、議事録署名人に大蔵町、秦 一朗氏、大久保町、福田福美子氏を指名、議案審議に入りました。議案第1号、「H23年度事業計画案」、議案第2号、「H23年度収支予算案」及び議案第3号「社団法人明石市シルバー人材センターの公益社団法人への移行について」はすべて原案どおり可決承認されました。



東森理事長のご挨拶



総会場風景

第2部 安全推進大会

先ず佐久間安全委員長が大会挨拶、「会員は個人事業主として就業しており、会員一人ひとりが高い自覚と責任感を持ち、絶対事故起こさないという信念を持って仕事に当たって欲しい」と厳しいメッセージが発信されました。続いて、平成22年度安全標語優秀作品などの表彰式が行われました。この詳細につきましては本誌3頁の安全委員会報告の中でお伝えしておりますのでご参考下さい。



安全標語表彰
受賞式模様

☆ アトラクションの部

今回のアトラクションは多彩な内容で3本立て、会場を十二分に楽しませてもらいました。

■ 手 品 …… 明石望海マジッククラブ

■ 魅惑の弦演奏

・ 三味線 …… シルバー職員、前田課長

・ クラシックギター

…… 弦 大樹 こと 東森理事長

最後はギター伴奏で、のど自慢の女性会員の登壇で盛り上りました。



安全委員会報告 Security Board Report

① 安全推進大会開催

去る3月24日開催の総会第2部において開かれました。(本誌2頁総会報告ご参照下さい)

② 安全標語優秀作品表彰

平成22年度受賞優秀作品は以下の通りです。
受賞者には表彰状並びに記念品などが贈呈されました。

●優秀賞(1点)

★過信と自信は紙一重 安全作業で
事故防止 岡田 保之

●優良賞(2点)

★「まあいいか」と許す心に 事故があき
川添 義信

★安全は 急ぐな焦るな 手を抜くな
柴田 満作

●佳作(4点)(参加賞贈呈のみ)

★命は一つ 無理な行動 やめようよ
秦 一朗

★この仕事 経験あるから大丈夫!!
気のゆるみ それが危険への落とし穴
田代 武士

★不注意では 濟まされぬ 気のゆるみ
足立 均

★いつも心掛けよう
KYT(危険、予知、トレーニング)を……
秋田 俊彦

③ 安全パトロール報告

平成22年度 第2回安全パトロールが去る11月25日に実施されました。

◆パトロール場所

シルバー会員就業場所、6ヶ所

◆参加人員

理事長、安全委員長含め5名、事務局員2名

◆反省会概要

パトロール後に開催された反省会での指摘、提言を要約しておきます。

(a) 作業場所に適切にカラーコーンが設置され、わかりやすい。

(b) 全般にわたって、作業現場では安全装備が十分に施されテキパキと作業が行われていた。

(c) 狹い現場での剪定作業においてバリカンの使用が人に近づきすぎて危険を感じる、適当な距離を保つよう心がけたい

(d) 飛石防止用ネットが適切に利用されている。

(e) 増員の必要がある現場も見受けられた。

(f) 個人住宅地で軒並みにシルバーのお客さんがあり、シルバーの信用性の高さが窺えた。



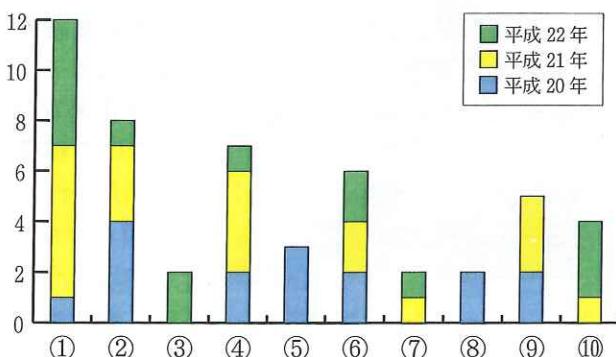
安全パトロール中!!

④ 平成22年度障害事故発生状況

★型別災害

(資料提供 事務局)

	① 交 通 事 故	② 転 倒	③ 挟 ま れ	④ 転 落	⑤ 激 突	⑥ 無 理 な 動 作	⑦ 切 れ	⑧ 反 動	⑨ 虫 刺 さ れ	⑩ そ の 他	合 計
平成22年	5	1	2	1	0	2	1	0	0	3	15
平成21年	6	3	0	4	0	2	1	0	3	1	20
平成20年	1	4	0	2	3	2	0	2	2	0	16



活動の記録

躍進する明石シルバー “安心”ふれ愛サポート隊がスタート!!

既報（3月シルバーポックス）のとおり、当センターの新規事業として標記サポート隊が去る2月15日に発隊しました。これらは、一昨年（2009年）11月に結成され今日に至るまで順調に推移しております「シルバー救急隊」のいわば女性版として、結成されたものです。



設立の理念は、現下の社会・経済情勢から第一義的に共働きの世帯が増え家事、育児や介護の責任を主に担っている女性の負担を少しでも軽減することにより、家庭・仕事の両立を可能にする環境を支援していきたいということにあります。

事業環境劣悪の情況の中でも、世の中の環境変化に対応し、隙間（業際）事業をきめ細かく拾い上げて具現化していくことをシルバーの躍進を温かくご支援下さい。

事業内容

- 食事作りなど家事全般：主に共働き、一人親家庭の支援
- 出産前後などの緊急時の家事支援
- 高齢者・病弱者への支援、例えば、掃除、洗濯、買い物、話し相手等など

お客様の幅広いニーズにお応えしようとするものです。

【備考】

現在当センター、就業機会拡大推進員のもとでPR・営業用チラシを考案作成中です。（3月末現在）



明石ケーブルテレビの取材を受ける
隊長の鶴谷真奈美さん

最近のトピックスから

東北関東大震災（戦後最大の自然災害）

思えば、昨夏は記録的猛暑を経験、多くの高齢者が直接の被害を受けたと報じられ、それから半年後の今日、その裏返しの様に日本海側に豪雪をもたらし、雪降ろし等に当たった多くの高齢者が犠牲になったと伝えられた。その厳寒の冬も一息つくまもなく、今度は東北を中心とする東日本の大震災が日本列島を揺さぶった。あれから早くも半月が経過するが（本稿起草3月末時点）被害の全容もまだ分からぬ状態が続いている。依然連日の様に余震が続く、加えて福島原発の恐怖に怯える被災地の状況は一向に軽減されていない。

我々は16年前、阪神・淡路大震災で大変な被害を被った当事者として多くの教訓も反省も得ているので、この東北地震をとても傍観者として見過ごすことはできない。しかも、阪神・淡路とは異質の大津波による比較にならない過酷な現実を重く受け止めなければならない。これから復旧と復興への厳しく長い闘いが待っているが、原発の危機がどれくらいの精度とスピードで阻止できるかにかかっている様に思われる。

（この冊子が発刊される頃には全面解決されていることを願うのみだ）大震災と大津波、加えて原子炉の危機という巨大複合災害は被災地に限られたお荷物ではない。国民一人一人がこの苦しみを共有し、国民一人一人が支えていく心遣いを行動で示そう。

（広報部 荒川）

（当センターでも総会開催等を通じ広く義援金を募集していることを付記します）

会員ふれあい広場

『センターと共に歩んで』(8)

今回は久方ぶりに女性会員の登場です。

入会が平成4年と伺っていますので、センターでもベテランの仲間のお一人、人丸小校区、
川崎多美子さん。

「事務局で選ばれたと聞いて今も大変興奮して、あがっております。どうぞお手柔らかにお願いします」と開口一番。

事務局のお偉方から、ボランティアにも積極的に参加され、当センターでも安全委員会にも属されがあり、重要かつ貴重な戦力と聞き及んでおりましたとおり、礼節を心得た落ち着いた方でした。

入会後のお仕事は硯町の化学薬品の会社や製薬会社などの作業補佐、御厨神社の清掃作業等々多義にわたってご活躍。

「早速ですがご趣味などお聞かせ下さい」

「私は比較的多趣味の方で、一番は自然の観察や野草の研究です。もともと自然に親しむことが大好きでNHK神戸の主催する「野草の会」に入会したのが始まりです」(今は当センター「ふらりウォッキングサークル」の役員のお一人)「60歳から主人の影響を受けて山歩きをはじめました。すべては健康の為です」「所でお生まれ、ご出身は?」と振りますと、「夫婦共々肥後の国(現熊

本)です」。すると途端に郷土自慢の展開、熊本城は「加藤清正が築城のとき食べられるお城として食糧飢饉に備え非常食用に建築資材を選んだ」という伝説があります」それから、宮本武蔵の五

輪書の話と、次から次へ展開しますがスペースの関係で残念ながら割愛します。

「その他、地球の断層・地層の研究などにも首を突っ込んであります」

とても好奇心が強く向学心が旺盛。

明石市民として今思うことは、「何故もっと観光事業に積極的に取り組まないのか不思議でなりません。30万近い

市民が暮らす街、135度の子午線が通る「時の街」、明石海峡を臨む「海峡のまち」加えて、明石原人の発掘、源氏物語の舞台、明石城で栄えた歴史ロマンと観光素材の宝庫です」と流れるよう持論を展開。「明石は相対的にやや文化度(文明度)が低いのでは?」とチクリと辛口批評。

この辺りから編者と意気投合してすっかり雑談になりました。これ以上は省略しますが、この方の知識・見識の広さ、深さは想像を超えるものでした。初めの緊張感はどこへやら。それでもインタビュー終了時には「私興奮すると、多弁になるのです」と。久しぶりで楽しくも爽快な気分でした。

(インタビュー・まとめ 荒川、写真事務局 原田)

成長する サークル活動 1

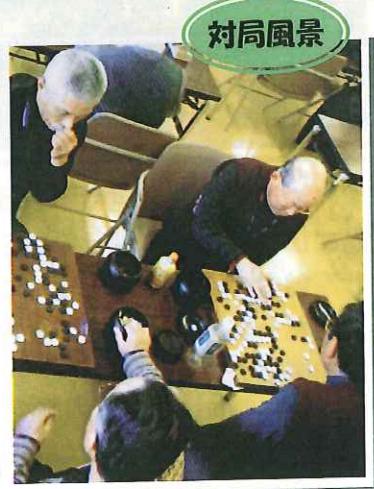
囲碁・将棋サークル

会長 山田 耐さん

開設してやっと一年が来ようとしています。3月現在メンバー総勢18名と基盤は出来上がったと感じております。室内競技のため、場所確保にいつも頭を痛めてきましたが、今は明石総合福祉会館に落ち着きどうやら安住の場を得たと感じております。

会員18名と申しましても常時活動に参加できるのは8~10人程度(仕事の都合)になります。私の考えでは、もう少しサークル規模の拡大を目指しておりますので、右脳の活性化をお望みの方、将来の認知症をご心配の方、奮ってご参加・入会をお待ちしております。

入会希望者の方は…… 会長自宅 TEL 922-9827まで



対局風景

成長するサークル活動②

共に浅い歴史ながら、絶えず組織的充実を志向し、会員の欲求やニーズを汲み取りながら運営の手直しを試み、絶えざる革新を目指す立派なリーダーシップがそこに存在する。そして、我々も微力ながらそれらの活動のお手伝いをしていきたいと思う。

(広報部)

手芸サークル

会長 福田 福美子さん

私達のサークルは手芸に精通した器用な者が集まっているわけではありません。単に手作業が好きな人、逆に不得手なので、一度勉強してみよう、等など入会動機は様々です。

共通しているのは、残りの人生を楽しく送ろう、前向きに生きようとする姿勢や心根はみんな同じ。毎回の活動は盛り上がって、楽しそうに時間や齢のことなど気にしている暇はありません。

最近聞こえてくるのは「シルバーの会員になりたいわけではないが手芸サークルに参加したい」とする希望者もあり、私達関係者はどう対応するべきなのか等問題もないわけではありません。

ともあれ、センターの社会的責任や役割との調整も考慮しつつ、前向きに積極的に活動していきたいと思っています。



カラオケサークル

会長 山田 雅章さん



まず冒頭で、この度、東北関東大震災で被災された方々に慎んでお見舞い申し上げます。

我がカラオケサークルは、既にお知らせしました様に昨年12月に旗揚げしましたところ、誠に大勢の方々の入会をいただき、スタートから順調に船出が出来ました。目下会員総数21人で定期的な活動を展開中ですが、何と言ってもまだ設立半年で不慣れな部分もあり、会員同士の設立の理念に対する認識の

ズレや運営上の意見の不一致などもあり、随所で執行部も苦労していますが、本当の軌道にのる為には今しばらく試行錯誤を重ねていかねばと思っています。

高齢者的心構えで重要なことは老化防止のために気力、体力、忍耐力、気配りを心がけることだと思います。すべての要素を含んだ我がサークルは常に元気一杯の活動を目指します。

理事長の運営方針（「銀の花」で紹介された）でも組織の充実と活性化を図る一つの手段として、更には新しい相互人脈の育成、結束力の向上を掲げられています。

我々サークルもそんな目的の一翼を担う活動でありますと願っています。

今後ともセンター他関係者の温かいご支援、ご指導をお願いします。



隨想

「亡き母を想う」

すべてに大らかで、とても優しい人でした。
それでも、術後の回復期には辛く当たつたり、
思い切り甘えてくれたりしましたね。

焼き芋が殊のほか好きな人でした。寒天も大好きで

いつもはなしに「作って」と、ねだつたものです。

あなたの作った「おじやみ」は世界一でした。

今私が「センターの手芸サークル」であなたの「匠」
に少しでも近づけるよう頑張っていますよ。

何事もそつなくこなすあなたが、晩年はよく「ドジ」
をしましたね、二人して大声で笑いあつたものです。

最期の水を口にし、ホッコリと天国に旅立ちました。

今は先立った父と再び一緒になれたことでしょう。

なかなか独り立ちできない私をいつまでも温かく

見守ってくれて本当にありがとうございました……

藤江（藤江小校区） 森川素子

明石図書館にて

お城の森の小高い丘に レンガの館ライブラリー

老若集えれば蝉しぐれ 蝉さん静かにしてくれと

シッと思わず唇に 人差し指を当てている

我聞せずと蝉はなく 八月半ばの昼下がり

西明石（藤江小校区） 北村清忠

京都嵐山にて

嵐山 岩嘴み流る保津川の

瀬音涼しき竹林に 人力車夫の語り居り

黒の腹掛地下足袋に 篠の葉サラサラまとわりて

竹林木漏れ陽汗照らす

西明石（藤江小校区）

北村清忠

淡路、黒岩水仙郷にて

誰が植えし この断崖の 花の群れ

氣高く咲きし 水仙の花

水仙の高き崖より 見渡せば

白き歯を見せ 波踊り来る

俳句二題

ちよろちよろと 流れる岸に 芹の青

湧き水を 両手で掬い 春を汲む

松が丘（松が丘小校区）

加賀山 ヤエ子

梅の木に 花に誘われ 小鳥たち
崖っぷち 勾い舞い散る 黄水仙

二見（二見西小校区）

福永スマ子

事務局からのお知らせ

INFORMATION FROM CENTER OFFICE

※ 当センター設立30周年記念事業について

既報（銀の花Vol. 41）のとおり、当シルバー人材センターはいよいよ本年設立30周年を迎えます。その節目に当たり、記念事業準備委員会で式典の開催、記念誌の編纂等に向けて準備は怠りがありません。開催は本年10月8日（土）、明石市民会館、大ホールを予定しております。

詳細にわたっては改めて報告いたします。

※ 公益法人の認定申請について

既報のとおり、公益法人制度改革関連三法施行（H20年12月）に伴い、当センターは公益社団法人への移行をめざし、指定の申請を今期中に行い来年3月に認定、4月に法人登記に向けて準備中です。

※ 平成23年度第1回通常総会のご案内

既に会員各位には個別にご案内しておりますのでご承知いただいているものと思いますが、当月31日（火）の開催（市民会館）です。例年と曜日が異なりますので、ご注意下さい。

※ 配分金振込み日ご案内 (関係期間のみ)

就業月	振込月・日	就業月	振込月・日
5月	6月15日(水)	7月	8月15日(月)
6月	7月15日(金)	8月	9月15日(木)

※ 地域班（第1号班）設立のご案内

さてから検討を続けて参りました、衣川中地区地域班が第1号として設立されました。ここにご案内いたします。引き続き他校区も開設を目指しております。

◆ お知らせ

毎年、会員在籍十年表彰を5月総会で実施してきましたが、今年に限り10月に予定されています30周年記念式典の場で表彰式をおこないます。関係者の皆様はご承知下さい。

※ 平成22年度通期事業実績報告

(平成22年4月～平成23年3月)

●会員数	●受注件数	8,253件
1,127人（3月末） (男：766人、女：361人)	内訳	(累計)
	{ 公共	1,014件
	{ 民間	7,239件
●就業実人員(人)	●契約金額	709,442千円
987人	内訳	
	{ 公共	169,894千円
	{ 民間	539,548千円
●就業率(%)		
87.58%		



平成22年度安全標語優秀作品 「過信と自信は紙一重 安全作業で 事故防止」 (作)岡田 保之

編集後記 EDITOR'S POSTSCRIPT

- ★ 本号の表紙絵柄の3本のflag（旗）をご注目下さい。未来に向って羽ばたくシルバーを象徴しています。絶妙の3色カラーハーモニーもお見逃しなく。写真撮影は会員の柴田満作さんによる広角撮影の作品です。写真上の書字は会員の櫻井 茜さんにお願いしました。（ご協力ありがとうございました）
- ★ 3.11に発生した大震災は、想像を超えた実に痛ましい出来事に発展しています。しかし、絶望的と思われる原子炉の危機も、例の切尔ノブイリの如き広大な草原に中性子が飛び交う様な惨状ではない。正しい情報開示と適切な誘導、鉄壁な日本の技術で今ある国民の危機を救って欲しいと願っています。
(広報・編集委員)